



OSAKA CITY UNIVERSITY

**2019年度 8期生
科学的思考論プレゼン大会**

クリティカルシンキング ～お悩み相談室～

8期生 河合将貴・櫛田一輝・丸山純



**大阪市立大学商学部
宮川研究室**

本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室の所属学生がゼミ用教材資料として作成したものです。本資料内には、事実ではなく仮説として設定された内容も含まれています。また、本研究室は、内容の正確性および完全性に責任を負うものではありません。これ以外の目的で使用すること、並びに無断で複製することを固くお断りします。

本日の流れ

1. 正しく思考するための姿勢
2. 論理的に考える方法論
 - 2.1. 現状を把握する
 - 2.2. イシューを踏まえた上で「考える枠組み」を考える
 - 2.3. 正しく論理を展開する

クリティカル・シンキングとは

正しい方法で正しいレベルまで考えること

問題を目の前にしたときに、すぐに答えを出そうとするのではなく、じっくりと考えて問題の本質を突き詰めること



クリティカル・シンキングの効用の例を挙げる

- それまでできなかった斬新な発想ができる
- それまで見落とされていた機会や脅威に気付く
- 相手の言いたいことやその前提を的確に理解できる

正しく思考するための姿勢は3つある

- 目的は何かを常に意識する
 - 「何のために考えるのか」を明確に
- 自他に思考のクセがあることを前提に考える
 - 自分自身を第三者の目で見ること
- 問い続ける
 - 「So what?」 「Why?」 「True?」

クリティカルシンキングは3つの場面で使われる

- ・ 現状を把握する
 - ➔ 現状を把握して、因果関係を探る
- ・ イシュー(考えるべきこと)を踏まえた上で、「考える枠組み」を考える
 - ➔ 大きな論理の構造を作る
- ・ 正しく論理を展開する
 - ➔ 「演繹法」と「帰納法」

A君の悩みを一緒に解決

A君について

- ・ 地方の田舎から大学進学に際して大阪に出てきた
- ・ 長居駅周辺のアパートで一人暮らしをしている

悩み

- ・ 一人暮らしを始めて、夜に寝られないことが増えた

現状を把握するためにロジックツリーを使う

現状把握

- ・ 構成要素に分解する
- ・ 分析対象を多面的に捉える

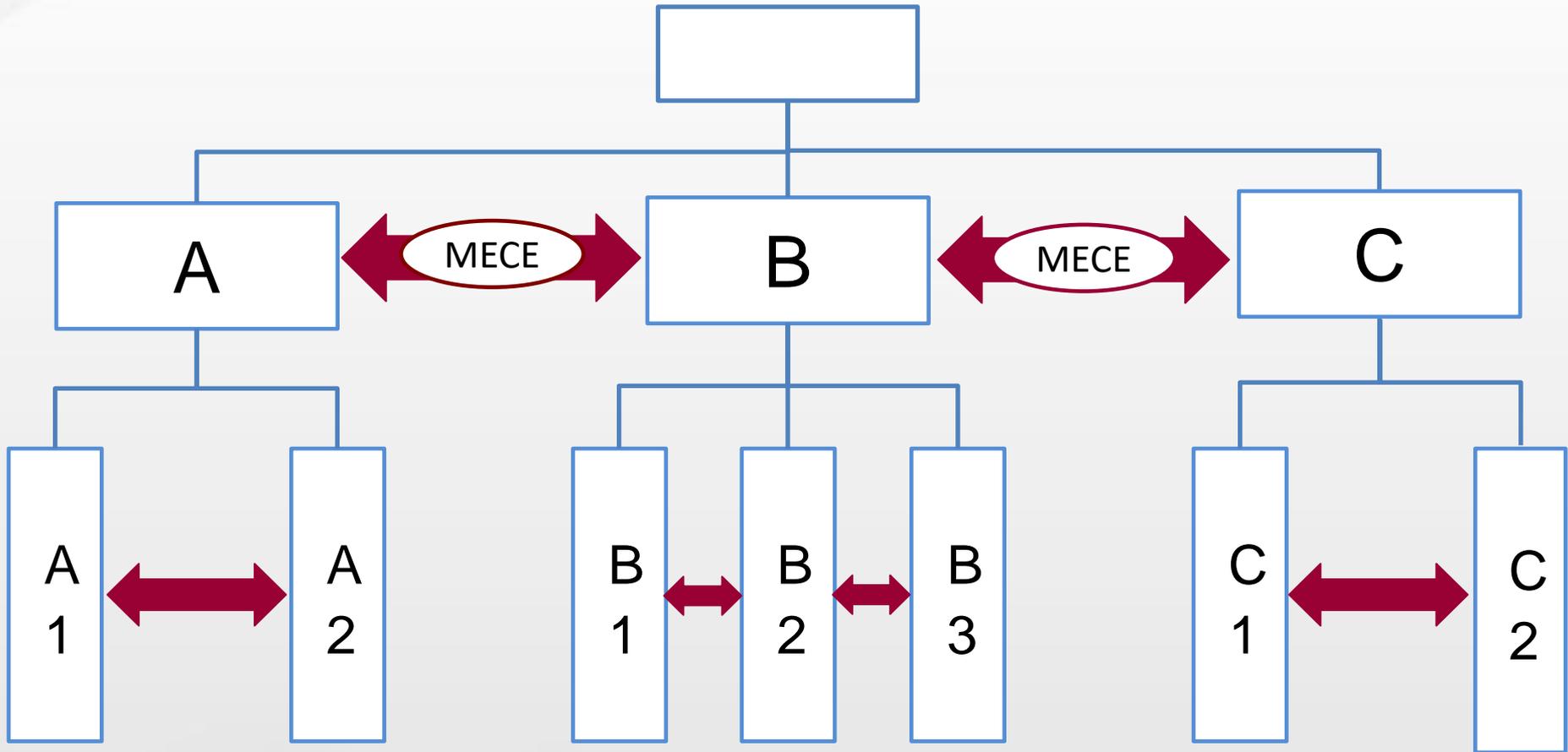


大事なポイント

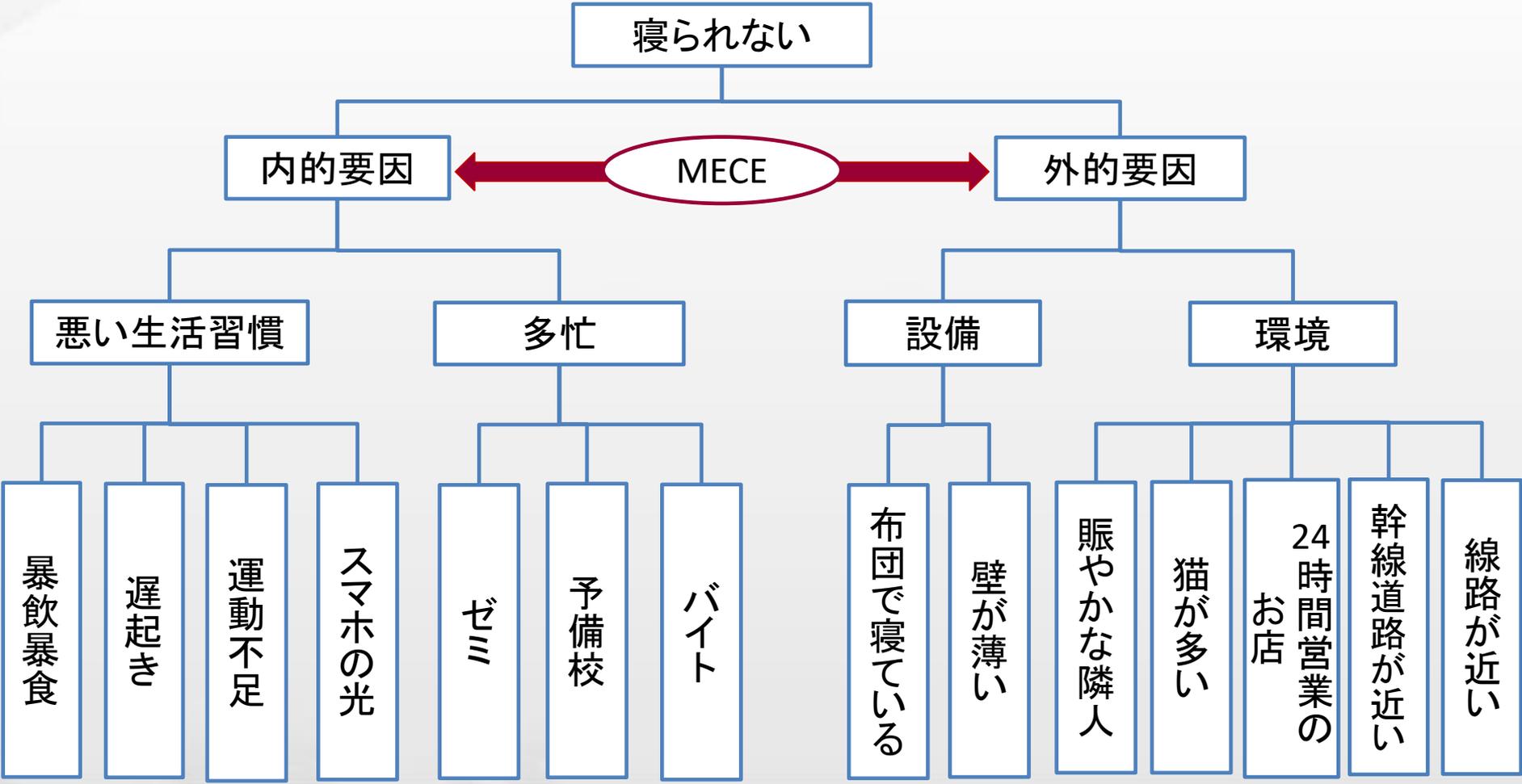
- ・ 切り口切り方
- ・ MECE（もれなくダブリなく）

そのために**ロジックツリー**というツールを使う

ロジックツリーの構造を理解する



A君の例をロジックツリーに当てはめる



イシューを踏まえた上で「考える枠組み」を考える

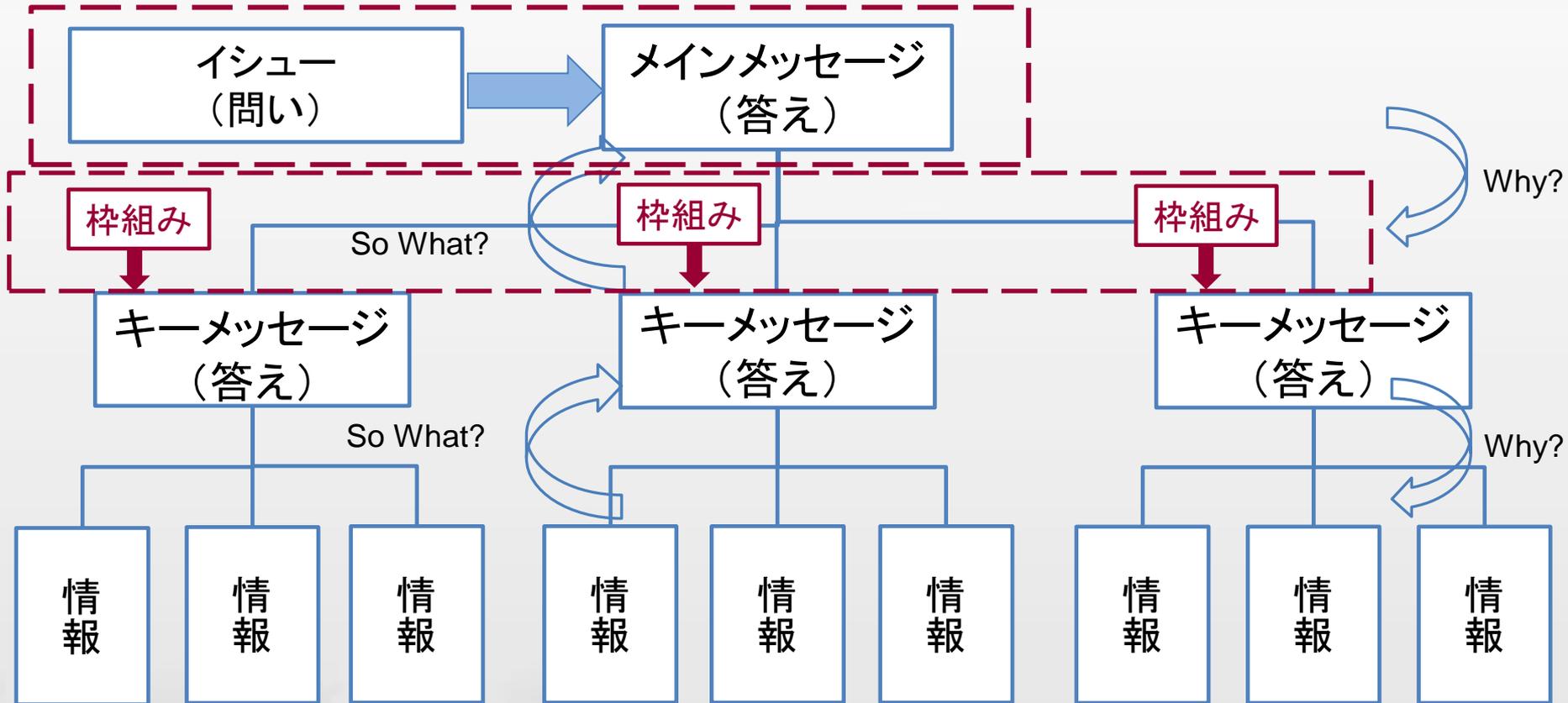
「考える枠組み」

イシューに答えるために、どのようなポイントや論点を考慮・判断すべきか

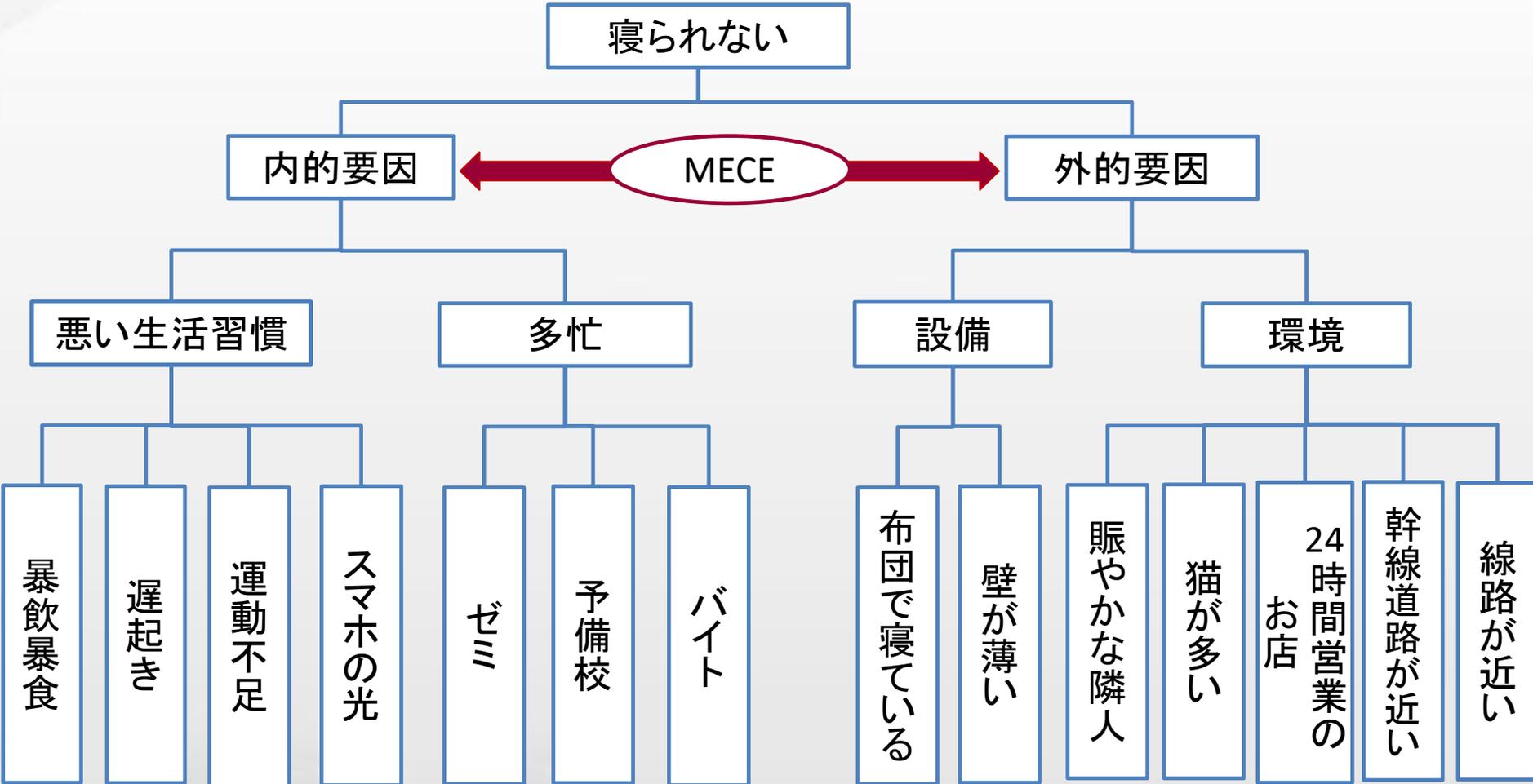
枠組みを設定しない場合に起こり得ること

- ・ 論点の抜け漏れ
- ・ 論点の偏り
- ・ 混乱

ピラミッドストラクチャーとは、 論理の流れを見やすくするためのツール



A君の例をロジックツリーに当てはめる



A君の例をピラミッドストラクチャーに当てはめる

外的要因の影響を少なくし
今ある時間内で最大限寝
るにはどうしたらよいか？

耳栓をすることで
騒音の影響を
軽減する

現状は？

実現可能性は？

A君は騒音の影響で
ストレスを受けている

実現可能性は高い

家の周辺が
うるさい

騒音の影響を
受けやすい環境

耳栓の手軽さ

耳栓の効用

幹線道路近い

24時間営業
のお店

猫だらけ

線路近い

1階

壁が薄い

両側が部屋

便利さ

低コスト

外部の騒音を
遮断する



正しく論理を展開して 説得力のある主張を展開する

文章や発言などの背景の「理屈」がどのように成り立っているかを考え、主張に説得力を持たせる

メリット

- ・ 理解力が増す
- ・ 反論力が増す
- ・ 推理力が増す

A君の例を帰納法、演繹法に当てはめる

外的要因の影響を少なくし、今ある時間内で最大限寝るにはどうしたらよいか？

耳栓をすることで騒音の影響を軽減する

現状は？

実現可能性は？

A君は騒音の影響でストレスを受けている

実現可能性は高い

家の周辺がうるさい

騒音の影響を受けやすい環境

耳栓の手軽さ

耳栓の効用

幹線道路近い

24時間営業のお店

猫だらけ

線路近い

1階

壁が薄い

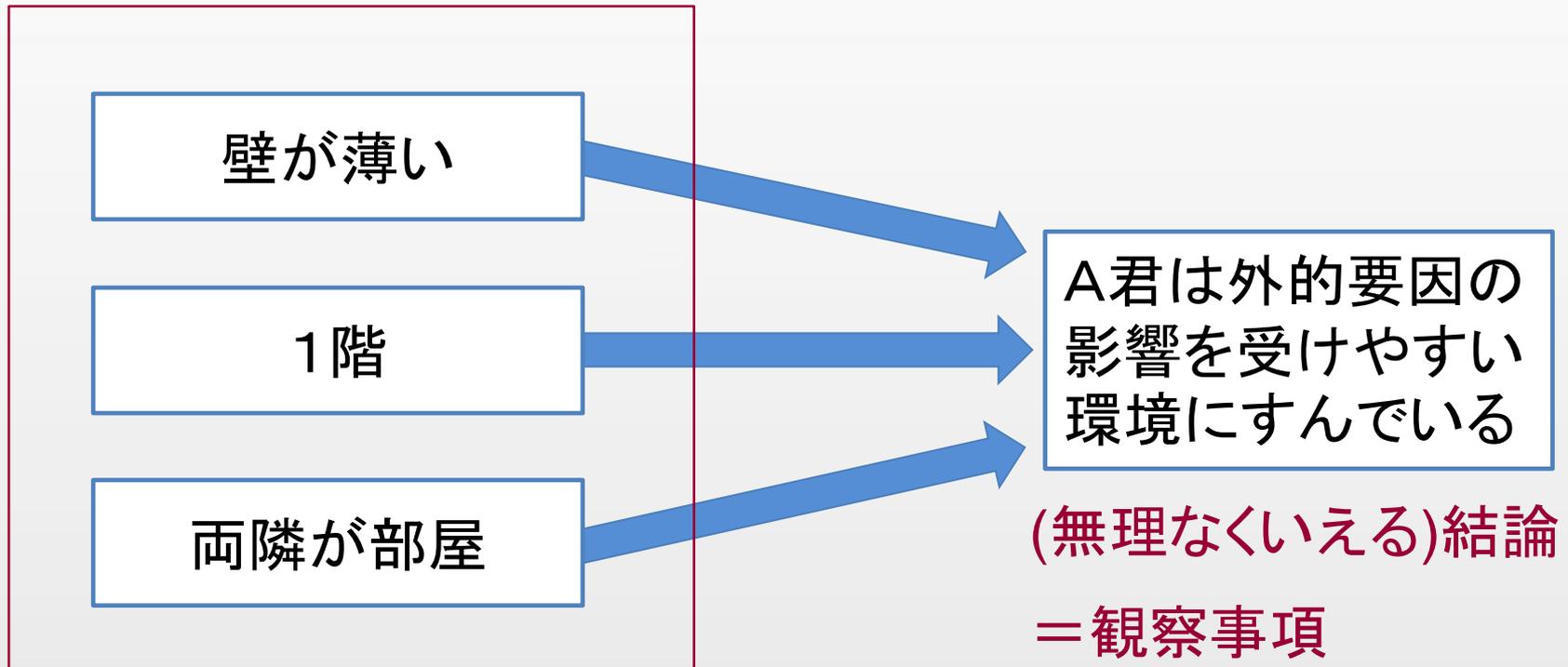
両側が部屋

便利さ

低コスト

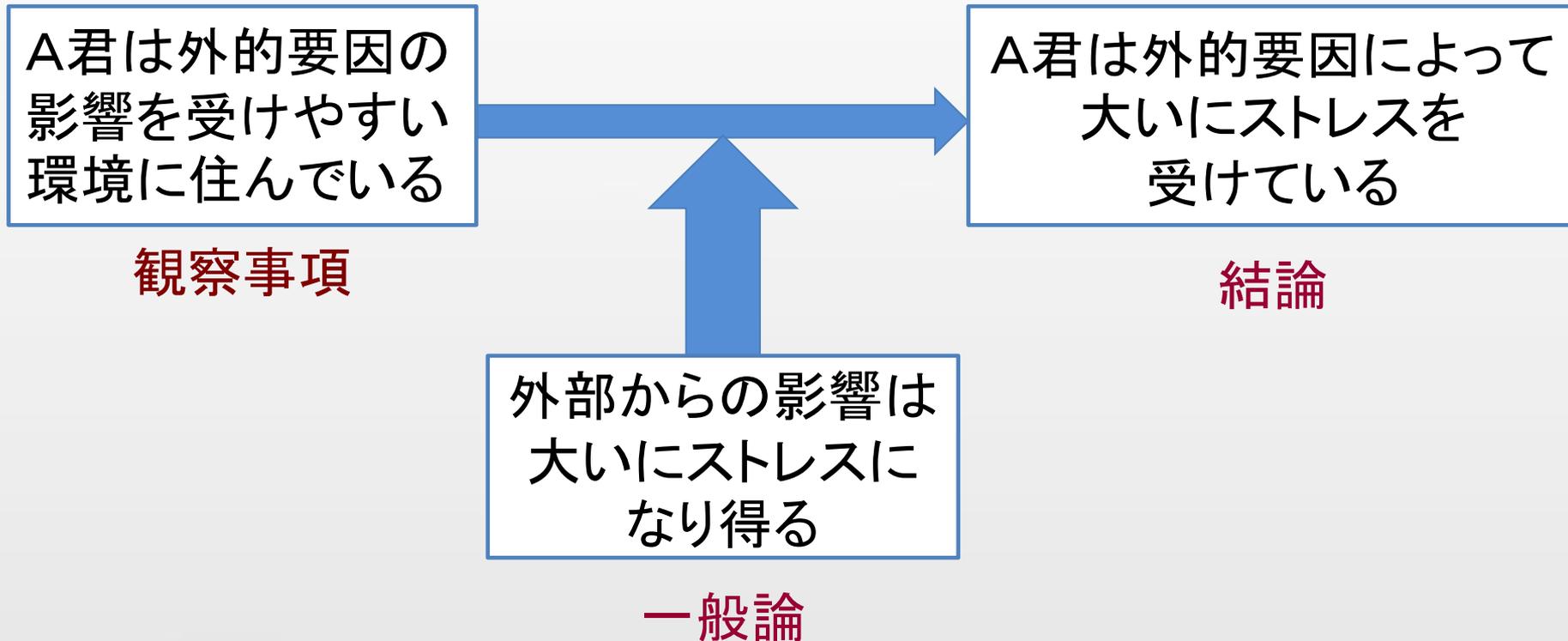
外部の騒音を遮断する

帰納法とは、観察事項の共通点から結論を導き出す思考法



観察事項

演繹法とは、観察事項を一般論に照らし合わせ、合致しているか否かで結論を出す思考法



大切な4つのポイント

- 3つの姿勢
- 現状把握
 - ロジックツリーを用いる
- 大きな論理の構造を作る
 - ピラミッドストラクチャーを用いる
- 論理を正しく展開する

参考文献

グロービス経営大学院大学

『グロービスMBAクリティカルシンキング』
ダイヤモンド社